



## 2019年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年1月31日

上場会社名 株式会社トクヤマ

上場取引所 東

コード番号 4043 URL <http://www.tokuyama.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 横田 浩

問合せ先責任者 (役職名) 広報・IRグループリーダー (氏名) 小林 太郎

TEL 03-5207-2552

四半期報告書提出予定日 2019年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	238,289	5.4	25,454	15.6	23,674	10.6	19,570	166.5
2018年3月期第3四半期	226,090	3.7	30,150	6.6	26,477	5.2	7,342	70.5

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 16,648百万円 (7.7%) 2018年3月期第3四半期 15,454百万円 (42.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	281.56	
2018年3月期第3四半期	82.18	

当社は、2017年10月1日付で普通株式5株を1株に併合しています。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しています。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第3四半期	363,799	148,952	38.0	1,992.76
2018年3月期	361,949	136,591	34.7	1,806.56

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 138,401百万円 2018年3月期 125,656百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		2.00		20.00	
2019年3月期		25.00			
2019年3月期(予想)				25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2017年10月1日付で普通株式5株を1株に併合しています。2018年3月期の1株当たりの配当金につきましては、第2四半期末は株式併合前の金額を記載し、期末は株式併合後の金額を記載しており、年間配当金合計は「-」として記載しています。なお、当該株式併合後に換算した2018年3月期の1株当たり第2四半期末配当は10円00銭、1株当たり年間配当金合計は30円00銭です。

2018年3月期の期末配当金20円00銭は、記念配当10円00銭を含んでいます。

### 3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	328,000	6.5	38,000	7.9	34,000	6.1	27,000	37.1	388.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期3Q	69,934,375 株	2018年3月期	69,934,375 株
期末自己株式数	2019年3月期3Q	481,897 株	2018年3月期	378,378 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期3Q	69,509,684 株	2018年3月期3Q	69,561,756 株

2017年10月1日付で普通株式5株を1株に併合しています。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しています。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 第3四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

2019年1月31日に、四半期決算説明資料を当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
四半期連結損益計算書	P. 7
四半期連結包括利益計算書	P. 8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	P. 9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 9
(追加情報)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、以下のとおりとなりました。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
2019年3月期 第3四半期連結累計期間	238,289	25,454	23,674	19,570
2018年3月期 第3四半期連結累計期間	226,090	30,150	26,477	7,342
増減率	5.4%	△15.6%	△10.6%	166.5%

(売上高)

半導体関連製品を中心に総じて販売が堅調に推移したこと、苛性ソーダ等の販売価格の是正に努めたことなどにより、前年同期より121億98百万円増加し、2,382億89百万円（前年同期比5.4%増）となりました。

(売上原価)

石炭や国産ナフサの価格上昇による原燃料コストの増加等により、前年同期より141億14百万円増加し、1,662億15百万円（前年同期比9.3%増）となりました。

(販売費及び一般管理費)

物流費等の増加により、前年同期より27億80百万円増加し、466億19百万円（前年同期比6.3%増）となりました。

(営業利益)

各事業の販売は堅調に推移したものの、原燃料価格の上昇をはじめとする製造コストの増加が、各セグメントの営業利益を圧迫しました。これにより、前年同期より46億95百万円減少し、254億54百万円（前年同期比15.6%減）となりました。

(営業外損益・経常利益)

営業外損益は、前年同期より18億92百万円改善しました。

以上の結果、経常利益は28億3百万円減少し、236億74百万円（前年同期比10.6%減）となりました。

(特別損益・税金等調整前四半期純利益・四半期純利益・親会社株主に帰属する四半期純利益)

特別損益は、前年同期より20億48百万円改善しました。

以上の結果、税金等調整前四半期純利益は、前年同期より7億55百万円減少し、238億8百万円（前年同期比3.1%減）となりました。

応分の税金費用を加味した四半期純利益は、前年同期より74億13百万円増加し、199億91百万円（前年同期比58.9%増）となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期より122億28百万円増加し、195億70百万円（前年同期比166.5%増）となりました。

(セグメント別の状況)

売上高

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	化成品	特殊品	セメント	ライフ アメニティー				
<b>2019年3月期 第3四半期 連結累計期間</b>	<b>74,232</b>	<b>42,053</b>	<b>69,071</b>	<b>39,312</b>	<b>45,102</b>	<b>269,773</b>	<b>△31,484</b>	<b>238,289</b>
2018年3月期 第3四半期 連結累計期間	67,889	41,756	65,750	37,795	41,047	254,238	△28,148	226,090
増減率	9.3%	0.7%	5.1%	4.0%	9.9%	6.1%	—	5.4%

営業利益

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	化成品	特殊品	セメント	ライフ アメニティー				
<b>2019年3月期 第3四半期 連結累計期間</b>	<b>12,694</b>	<b>6,862</b>	<b>2,222</b>	<b>2,386</b>	<b>2,782</b>	<b>26,947</b>	<b>△1,492</b>	<b>25,454</b>
2018年3月期 第3四半期 連結累計期間	11,405	7,306	3,656	2,383	5,024	29,777	373	30,150
増減率	11.3%	△6.1%	△39.2%	0.1%	△44.6%	△9.5%	—	△15.6%

(注) 各セグメントの売上高、営業利益にはセグメント間取引を含めております。

(化成品セグメント)

苛性ソーダは、国内の販売価格の是正が進んだことにより、業績が大きく伸長しました。

塩化ビニル樹脂は、販売数量は堅調に推移しましたが、国産ナフサ等の原料価格の上昇により製造コストが増加し、減益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は742億32百万円（前年同期比9.3%増）、営業利益は126億94百万円（前年同期比11.3%増）で増収増益となりました。

(特殊品セグメント)

半導体向けの多結晶シリコンは、販売数量は堅調に推移したものの、原燃料価格の上昇等により製造コストが増加し、減益となりました。

電子工業用高純度薬品は、半導体製品用途で販売数量が増加したものの、国産ナフサ等の原料価格の上昇により製造コストが増加し、減益となりました。

放熱材は、半導体製造装置部材向けを中心に販売数量が増加し、好調に推移しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は420億53百万円（前年同期比0.7%増）、営業利益は68億62百万円（前年同期比6.1%減）で増収減益となりました。

(セメントセグメント)

セメントは、国内の出荷が軟調に推移したこと、石炭等の原料価格の上昇により製造コストが増加した結果、減益となりました。

資源リサイクルは、ほぼ前年同期並みの業績となりました。

連結子会社は、セメント関連製品の出荷が堅調に推移し、増収となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は690億71百万円（前年同期比5.1%増）、営業利益は22億22百万円（前年同期比39.2%減）で増収減益となりました。

(ライフアメニティーセグメント)

プラスチックレンズ関連材料は、メガネレンズ用フォトクロミック材料の出荷が好調でした。

一方で、イオン交換膜は、出荷は堅調に推移したものの、大型案件のあった前年同期比では減益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は393億12百万円（前年同期比4.0%増）、営業利益は23億86百万円（前年同期比0.1%増）で増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は3,637億99百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億50百万円増加しました。主な要因は、保有株式の時価評価等により投資有価証券が20億90百万円減少した一方、新規連結子会社の発生等により有形固定資産が51億63百万円増加したことによるものです。

負債は2,148億47百万円となり、前連結会計年度末に比べ105億10百万円減少しました。主な要因は、長期借入金及び1年内返済予定の長期借入金が101億14百万円減少したことによるものです。

純資産は1,489億52百万円となり、前連結会計年度末に比べ123億60百万円増加しました。主な要因は、その他有価証券評価差額金が27億82百万円減少した一方、親会社株主に帰属する四半期純利益の積み上げ等により利益剰余金が164億28百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の事業環境については、為替や原燃料価格の変動など、不透明な部分はあるものの、現時点で業績は想定範囲内で推移しております。そのため、2018年4月27日に公表した業績予想を据え置きます。

本業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	57,229	61,172
受取手形及び売掛金	79,660	78,075
リース債権	28	29
有価証券	10,000	—
商品及び製品	14,028	17,791
仕掛品	10,075	9,432
原材料及び貯蔵品	15,327	17,313
その他	4,809	5,896
貸倒引当金	△127	△104
流動資産合計	191,031	189,608
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	102,761	105,249
減価償却累計額	△73,455	△75,797
建物及び構築物(純額)	29,305	29,451
機械装置及び運搬具	446,278	456,577
減価償却累計額	△404,441	△412,959
機械装置及び運搬具(純額)	41,836	43,617
工具、器具及び備品	21,887	22,042
減価償却累計額	△19,748	△19,870
工具、器具及び備品(純額)	2,138	2,171
土地	30,995	32,197
リース資産	3,760	4,595
減価償却累計額	△1,753	△2,146
リース資産(純額)	2,007	2,448
建設仮勘定	3,959	5,518
有形固定資産合計	110,242	115,405
無形固定資産		
のれん	1,158	359
リース資産	51	53
その他	1,556	1,557
無形固定資産合計	2,766	1,970
投資その他の資産		
投資有価証券	24,302	22,213
長期貸付金	2,627	2,530
繰延税金資産	18,300	18,658
退職給付に係る資産	9,657	10,102
その他	3,162	3,368
貸倒引当金	△141	△58
投資その他の資産合計	57,908	56,814
固定資産合計	170,917	174,191
資産合計	361,949	363,799

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	47,610	49,051
短期借入金	2,549	3,622
1年内返済予定の長期借入金	15,684	12,279
リース債務	641	763
未払法人税等	3,688	2,281
賞与引当金	2,557	1,224
修繕引当金	4,332	3,493
製品保証引当金	98	34
その他	15,870	15,749
流動負債合計	93,032	88,501
固定負債		
長期借入金	119,521	112,811
リース債務	1,521	1,880
繰延税金負債	298	442
役員退職慰労引当金	143	209
株式給付引当金	—	34
修繕引当金	1,594	1,375
製品補償損失引当金	261	218
環境対策引当金	253	251
退職給付に係る負債	1,527	2,191
資産除去債務	5	6
その他	7,197	6,925
固定負債合計	132,325	126,346
負債合計	225,357	214,847
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	20,008	20,018
利益剰余金	90,752	107,180
自己株式	△1,472	△1,821
株主資本合計	119,288	135,377
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,352	△1,430
繰延ヘッジ損益	△151	△59
為替換算調整勘定	2,093	1,607
退職給付に係る調整累計額	3,074	2,907
その他の包括利益累計額合計	6,368	3,024
非支配株主持分	10,935	10,550
純資産合計	136,591	148,952
負債純資産合計	361,949	363,799



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	226,090	238,289
売上原価	152,100	166,215
売上総利益	73,989	72,074
販売費及び一般管理費		
販売費	29,385	31,090
一般管理費	14,453	15,528
販売費及び一般管理費合計	43,839	46,619
営業利益	30,150	25,454
営業外収益		
受取利息	174	75
受取配当金	253	400
持分法による投資利益	811	721
試作品売却収入	450	533
業務受託料	317	572
固定資産賃貸料	319	426
その他	1,017	1,042
営業外収益合計	3,344	3,770
営業外費用		
支払利息	2,894	2,055
借入費用	—	884
社債償還損	1,605	—
その他	2,517	2,611
営業外費用合計	7,017	5,551
経常利益	26,477	23,674
特別利益		
固定資産売却益	478	39
負ののれん発生益	—	964
投資有価証券売却益	—	1
補助金収入	144	33
保険差益	31	46
受取損害補償金	7,705	—
その他	—	31
特別利益合計	8,359	1,117
特別損失		
固定資産売却損	1	9
減損損失	—	125
災害による損失	4	18
固定資産圧縮損	110	19
固定資産処分損	489	600
訴訟関連費用	120	157
事業譲渡損	8,059	—
契約解除損失	1,431	—
その他	56	52
特別損失合計	10,273	982
税金等調整前四半期純利益	24,564	23,808
法人税等	11,986	3,817
四半期純利益	12,577	19,991
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,235	420
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,342	19,570

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	12,577	19,991
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,778	△2,768
繰延ヘッジ損益	135	92
為替換算調整勘定	946	△431
退職給付に係る調整額	△17	△167
持分法適用会社に対する持分相当額	34	△68
その他の包括利益合計	2,877	△3,343
四半期包括利益	15,454	16,648
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,109	16,226
非支配株主に係る四半期包括利益	5,345	421

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益(損失)に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益(損失)に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(連結納税制度の適用)

当社及び一部の連結子会社は、第1四半期連結会計期間より、連結納税制度を適用しております。

(業績連動型株式報酬制度)

当社は、取締役(監査等委員である取締役、非業務執行取締役、社外取締役及び国内非居住者を除く)及び執行役員(国内非居住者を除く)を対象とした業績連動型株式報酬制度を2018年9月3日より導入しております。

1. 取引の概要

本制度は、役員報酬B I P (Board Incentive Plan) 信託(以下「B I P信託」という)と称される仕組みを採用します。B I P信託とは、欧米の業績連動型株式報酬(Performance Share)及び譲渡制限付株式報酬(Restricted Stock)と同様に、業績や役位に応じて、当社株式及び当社株式の換価処分金相当額の金銭を交付及び給付する制度です。

2. 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額および株式数は340百万円、100,800株です。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化成品	特殊品	セメント	ライフ アメリ ティ				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	67,153	33,396	65,495	36,194	23,851	226,090	—	226,090
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	735	8,360	255	1,601	17,195	28,148	△28,148	—
計	67,889	41,756	65,750	37,795	41,047	254,238	△28,148	226,090
セグメント利益	11,405	7,306	3,656	2,383	5,024	29,777	373	30,150

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外販売会社、運送業、不動産業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、報告セグメントに帰属しない基礎研究開発に係る費用及びセグメント間取引消去額等です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき重要な事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化成品	特殊品	セメント	ライフ アメリ ティ				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	73,592	32,654	68,412	37,746	25,883	238,289	—	238,289
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	640	9,399	659	1,566	19,218	31,484	△31,484	—
計	74,232	42,053	69,071	39,312	45,102	269,773	△31,484	238,289
セグメント利益	12,694	6,862	2,222	2,386	2,782	26,947	△1,492	25,454

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外販売会社、運送業、不動産業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、報告セグメントに帰属しない基礎研究開発に係る費用及びセグメント間取引消去額等です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ライフアメニティ」セグメントにおいて、当第3四半期連結累計期間で125百万円の減損損失を計上しております。